



第133号
編集 本間

サンショウにゆうす

(発行) 2016年5月
秋田市山王沼田町6-29
カルディア山王1階
TEL:018-874-7441
FAX:018-863-9870

この度の熊本地震によりお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

被災地で設置され大活躍、自動ラップ式ポータブルトイレ「ラップポン」

ラップポンには、大きく分けると日常的な介護で使用する「ラップポン・エブリ」と、**災害時に対応する「ラップポン・キュート」**の2種類があります。日常的介護用は木製のイス型で、AC電源のみで稼動します。個包装に使うフィルムは単層で、防臭効果は2、3日です。(本体の定価は9万2000円)
災害用のラップポンは、5層の特殊フィルムを使用するため、防臭効果は約1カ月続くそうです。緊急時に対応できるよう、**バッテリーも使えるAC/DC併用の電源**となっています。本体はアルミ製と木製の2種類があり、本体の価格は16万円からです。本体にバッテリーや専用個室、さらにフィルムカセットなどの消耗品も付けると、一式約30万円になります。同社によると、05年に発売して以来、災害用は1万台以上、日常介護用は3000台以上販売されているそうです。ともに介護保険が適用されます。(ちなみに5月末に在宅介護用に嬉しいコンパクトタイプが発売予定です！)



← **避難所に配備している災害用のアルミ製ラップポン (設置数は現在500台)**

使用法は、まず専用フィルムをセットし、凝固剤を入れて用を足します。使用後、手元スイッチの作動ボタンを押します。約2分後状態ランプが緑点灯に変わり、ピピピピという音がしたら処理終了です。それからトレーを引き出し、ラップされた排泄ゴミを指定のゴミ箱に捨てます。

お年寄りや子供たちなど、屋外の仮設トイレを使えない人を中心に使用されています。同避難所の医師の話では、**非常用トイレが設置されてからおばあちゃんに笑顔が戻り、肌もつやつやしてきた**と、その効果を指摘していたとの事です。

長期化する被災生活では、トイレの問題が浮き彫りになり、ストレス増大につながります。私達が取り扱う福祉用具がこのような形で活躍している姿を見ると大変嬉しく、こちら元気をもらってしまいました(*^▽^*)。

介護の本のご紹介です。(本といってもマンガなのですが..)

知る人ぞ知る介護マンガ「ヘルプマン!!」

累計105万部突破、第40回日本漫画協会大賞受賞



面白いと言ったら語弊があるでしょうか..おっちょこちょいの主人公が介護士として奮闘するストーリーなのですが、**介護の現状と介護に携わる**

人の本音がこれでもかというほどリアルに描かれています。2003年講談社イブニングから始まり、現在でも週刊朝日から連載続行中の本作、小生はまだほんのさわい程度しか読んでないのですが、人の生きる根幹に関わる深いテーマをきめ細かく描いているところに心を揺さぶられました。そして、何より人間として大事なことを教えてくれる素晴らしいマンガです。作者のくさか里樹(いき)さんは介護者のことを「ヘルプマン」と呼んでいます。介護離職が問題となっている昨今、若者を中心に**勇氣・やる気・希望・感動を与えてくれる**、本作は「介護関係者のバイブル」になってくれるマンガだと思います。教材として揃えている施設さんもあるとの事でしたので、初めて知ったという方は是非読んでみてください！

(田原総一郎さん、瀬戸内寂聴さん、元厚生労働大臣の舛添さんも絶賛オススメしております！)